

## 平成 24 年度事業報告

### 基本方針

東日本大震災後の本県への観光客の早期回復と引き続き東北新幹線全線開業効果の県内全域への波及を図るため、県及び関係団体と連携し、観光コンテンツの魅力向上、旅行商品の造成促進、東北新幹線青森県開業 10 周年記念イベントの実施、首都圏等での観光プロモーション等を展開したほか、地域における観光振興の中核となる人材の育成にも努め、本県観光産業の振興を図った。

また、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国・台湾・中国・香港を対象に引き続き積極的な誘客活動を展開するとともに、経済的波及効果が高いコンベンションや教育旅行の誘致に重点的に取り組んだ。

青森県観光物産館については、関係機関や団体等と連携し、通年での特色あるイベントを開催するなど、本県観光物産の拠点施設としての機能強化と魅力向上を図った。

### 〔公益目的事業〕

#### 1 観光振興事業

##### (1) 観光情報発信事業

###### ① 青森県観光情報センター運営事業（県委託事業）

地域の魅力や資源を観光コンテンツとして磨き上げ、青森ならではの観光情報を観光客や旅行エージェント等に発信し、旅行商品化に繋げるため青森県観光情報センターを運営した。

- ◆場 所 青森市安方 1-1-40 青森県観光物産館 2 階
- ◆内 容
  - ・ 県内各地の観光素材の収集及びソーシャルメディア等を用いた情報発信（ホームページ、フェイスブックを活用）
  - ・ 青森県観光情報サイト「アプティネット」の情報更新
  - ・ 県内各地の着地型観光プログラムの取りまとめ及びマスコミや旅行エージェント等への情報発信

###### ② 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が、最新の観光情報をインターネットにより入手できるよう、県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。 URL ([www.aptnet.jp](http://www.aptnet.jp))

③ 青森県観光情報サイトクリニック&研修事業（県委託事業）

県の緊急雇用創出事業を活用して新たに職員を雇用するとともに、専門家に一部業務を委託し、青森県観光情報サイト「アプティネット」のリニューアルに向けた現状分析、課題抽出、サイト改良等に係る計画書を策定した。

- ◆配置期間 平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月
- ◆配置人員 3 名
- ◆内 容
  - ・青森県観光情報サイト「アプティネット」のクリニック（日本語サイト及び外国語サイト）
  - ・サイト改良のためのアンケート実施（市町村及び観光案内所等）
  - ・暫定改良の実施（日本語サイト：平成 25 年 3 月末）

④ 青森観光情報発信力等強化対策事業（県委託事業）

東北新幹線全線開業及び青森デスティネーションキャンペーンの効果を継続的に獲得するため、県の緊急雇用創出事業を活用して観光PR推進員を配置し、本県への誘客促進等を図った。

ア 青森県観光情報センター運営事業（再掲）

- ◆配置期間 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
- ◆配置人員 2 名
- ◆内 容 県内イベント情報及び観光施設情報等の収集及びソーシャルメディア等を活用した情報発信等

イ 東北新幹線開業効果持続対策事業

- ◆配置期間 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
- ◆配置人員 2 名
- ◆内 容 県内観光物産資源の情報収集・調査及びこれらを活用したイベント開催による情報発信

ウ マスコットキャラクターおもてなし推進事業

- ◆配置期間 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
- ◆配置人員 8 名（延べ人数）
- ◆内 容 あおり観光マスコットキャラクター「いくべえ」の着ぐるみを活用した県内外観光イベントでのPR

⑤ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

- ◆実施期間 平成24年7月～平成25年3月
- ◆実施内容
  - ・本県と関連がある著名人の発掘、リストアップ
  - ・様々なコネクションを利用した働きかけによるキーインフルエンサーの獲得
  - ・キーインフルエンサー来県時の対応
  - ・キーインフルエンサー及びこれに付随する本県関連情報に係る各メディア露出度調査 等

(2) 教育旅行誘致事業（県委託事業）

東日本大震災により落ち込んだ教育旅行の早期回復を図り、本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施した。

① 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

ア 第1回会議

- ◆期 日 平成24年4月27日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成24年度の事業及びスケジュールについて

イ 第2回会議

- ◆期 日 平成24年9月14日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 教育旅行誘致活動状況について  
教育旅行入込実態調査の結果について  
教育旅行ガイドブックの作成について

ウ 第3回会議

- ◆期 日 平成25年3月25日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成24年度教育旅行誘致活動状況について  
平成25年度教育旅行誘致事業計画(案)について

② 教育旅行誘致資料等の制作

ア あおもり教育旅行ガイドブックの制作・配布

- ◆部 数 12,000部

イ 青森県教育旅行ホームページの更新

ウ 教育旅行PR用DVDの制作

③ 教育旅行実施状況調査の実施

- ◆内 容 県内宿泊施設に対する調査
- ◆対 象 県内ホテル、旅館等
- ◆期 間 平成24年5月～6月

④ 学校関係者・旅行エージェントに対する情報提供

ア 首都圏対策

(ア) 旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成24年8月22日(水)～23日(木)2日間
- ◆訪 問 先 東京・神奈川・埼玉の教育旅行関係エージェント30社
- ◆訪 問 者 教育旅行誘致促進会議構成員等12名

(イ) 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行事例発表会／主催：(株)東武トラベル
- ◆第8回教育旅行シンポジウム／主催：(財)日本修学旅行協会
- ◆全国修学旅行研究大会／主催：(公財)全国修学旅行研究協会
- ◆教育旅行セミナー 東京会場／主催：東北観光推進機構

(ウ) 学校訪問の実施

- ◆期 間 平成24年7月～12月
- ◆訪 問 先 首都圏の中・高等学校9校

(エ) 教育旅行情報交換会の開催

- ◆期 日 平成24年8月23日(木)
- ◆場 所 東京都・第一ホテル両国
- ◆参 加 者 (社)北海道観光振興機構、(公社)青森県観光連盟、  
長野県学習旅行誘致推進協議会、(社)広島県観光連盟、  
(社)長崎県観光連盟

イ 北海道対策

(ア) 青森県教育旅行情報交換会の実施

- ◆期 日 平成24年7月4日(水)
- ◆場 所 札幌市・ガーデンシティ札幌きょうさいサロン
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会構成員等28名・学校関係者19名

(イ) 札幌地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 24 年 7 月 2 日 (月) ~5 日 (木) 4 日間
- ◆訪 問 先 小樽市、岩見沢市、苫小牧市、札幌市、旭川市の教育旅行関係エージェント 30 社
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 23 名

(ウ) 函館地区学校訪問及び旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 24 年 6 月 27 日 (水) ~29 日 (金) 3 日間
- ◆訪 問 先 函館市の教育旅行エージェント 10 社及び小・中学校 75 校
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 24 名

ウ 東北対策

(ア) 東北地区学校訪問及び旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 24 年 9 月 10 日 (月) ~12 日 (水) 3 日間
- ◆訪 問 先 北東北エリアの教育旅行エージェント及び学校関係者 30 名
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 10 名

エ 関西圏対策

(ア) 関西地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 24 年 10 月 3 日 (水) ~5 日 (金) 3 日間
- ◆訪 問 先 大阪市、神戸市の教育旅行関係エージェント及び関係団体 14 か所
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 6 名

(イ) 関西圏教育旅行事例発表会への参加 (主催: 東北観光推進機構)

- ◆期 日 平成 24 年 10 月 4 日 (木)
- ◆場 所 大阪市・ホテル大阪ベイタワー

オ その他

北海道教育旅行関係者「東北現地研修」(主催: 東北観光推進機構)

- ◆期 日 平成 24 年 9 月 1 日 (土)
- ◆場 所 平川市・南田温泉ホテルアップルランド
- ◆参 加 者 本県関係者 20 名・学校関係者 13 名

(3) コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の強力な動機付けとなる開催助成金交付事業を実施するとともに、大学、全国団体等への誘致活動を強力に展開した。

① コンベンション誘致促進連絡会議の開催

ア 第1回会議

- ◆期 日 平成24年4月27日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成24年度事業及びスケジュールについて

イ 第2回会議

- ◆期 日 平成24年9月14日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成24年度事業の進捗状況について

ウ 第3回会議

- ◆期 日 平成25年3月25日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成25年度事業計画(案)について

② コンベンション誘致活動事業(県補助事業)

ア コンベンション開催費助成事業

コンベンション主催者に対して開催費助成金を交付した。

- ◆交付実績 助成先 34団体、助成金額 20,920千円

イ コンベンション誘致活動事業

開催助成金制度のPRや首都圏等への誘致活動を実施した。

- ◆県内大学訪問による学会等の誘致依頼、関係者との意見交換会
- ◆誘致アドバイザーの設置
- ◆首都圏等でのセールスプロモーションの実施
- ◆国際ミーティングエキスポ(I ME)への出展等

③ コンベンション誘致専門員の配置(県委託事業)

県の緊急雇用創出事業により、当連盟に2名、青森、弘前、八戸の各観光コンベンション協会に「コンベンション誘致専門員」を1名ずつ配置し、関係団体への情報提供や働きかけを通じて、本県でのコンベンション開催の誘致を推進した。

- ◆配置期間 平成24年4月～平成25年3月 配置人員5名

(4) 外国人観光客誘致拡大事業

東アジアからの外国人観光客の誘致活動をより一層積極的に展開するとともに、県内観光事業者の受入意識やサービスの向上、外国語表記改善等の受入体制の充実強化を図った。

また、東日本大震災以降、海外からの観光客が大幅に減少していることから、韓国、台湾、香港、中国を中心とした東アジアからの旅行需要を回復させ、外国人観光客を誘致促進するため、本県の安全・安心に関する情報や観光資源の魅力を紹介・宣伝するなど積極的な誘致活動を実施したほか、県の緊急雇用創出事業を活用して、語学に堪能な国際観光コーディネーター及びアドバイザーを配置し、受入体制の整備に努めた。

① 国際観光推進連絡会議の開催

ア 第1回会議

- ◆期 日 平成24年4月27日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成24年度の事業及びスケジュールについて

イ 第2回会議

- ◆期 日 平成24年9月14日(金)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成24年度後半のインバウンド事業について

ウ 第3回会議

- ◆期 日 平成25年3月25日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成25年度のインバウンド事業について

② 韓国人観光客誘致拡大事業(県委託事業)

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 主力商品販売対策

(ア) エージェントファムツアー

- ◆期 間 平成24年6月8日(金)～10日(日)3日間
- ◆場 所 古川市場、A-FACTORY、青森県観光物産館、ねぶたの里、星野リゾート青森屋、十和田市現代美術館、ノースビレッジ、奥入瀬溪流、奥入瀬溪流ホテル、十和田荘、十和田湖レークサイドホテル、十和田湖遊覧船、酸ヶ湯温泉、八甲田リゾートホテル、八甲田ロープウェイ、青森県立美術館等
- ◆招 聘 者 旅行エージェント4社4名、大韓航空3名

(イ) エージェントファムツアー(韓国ドラマロケ地)

- ◆期 間 平成 24 年 9 月 21 日 (金) ~ 23 日 (日) 3 日間
- ◆場 所 津軽藩ねふた村、弘前公園、藤田記念庭園、ベストウエスタンホテルニューシティ弘前、ブロッサムホテル弘前、弘前パークホテル、ホテルニューキャッスル弘前、弘前市りんご公園、立佞武多の館、斜陽館、津軽鉄道、青荷温泉、奥入瀬溪流、ヴィラシティ雲谷等
- ◆招 聘 者 旅行エージェント 5 社 5 名、大韓航空 1 名、ソウル事務所 1 名

(ウ) エージェントファムツアー(FIT・ドラマロケ地)

- ◆期 間 平成 24 年 10 月 14 日 (日) ~ 16 日 (火) 3 日間
- ◆場 所 津軽藩ねふた村、弘前公園、藤田記念庭園、路地裏探偵団、ベストウエスタンホテルニューシティ弘前、弘前市りんご公園、星野リゾート界・津軽、ホテルアップルランド、八甲田ホテル、酸ヶ湯温泉、奥入瀬溪流、奥入瀬溪流ホテル、星野リゾート青森屋、ワ・ラッセ、A-FACTORY、青森県立美術館等
- ◆招 聘 者 旅行エージェント 6 社 6 名、ランド社 1 社 1 名、大韓航空 1 名、ソウル事務所 1 名

(エ) エージェントファムツアー

- ◆期 間 平成 25 年 3 月 8 日 (金) ~ 10 日 (日) 3 日間
- ◆場 所 青森県立美術館、南田温泉ホテルアップルランド、居酒屋「あいや」、ベストウエスタンホテルニューシティ弘前、下土手町、藤田記念庭園、弘前公園、禅林街、津軽藩ねふた村、ヴィラシティ雲谷、津軽鉄道、ワ・ラッセ、A-FACTORY、古川市場等
- ◆招 聘 者 旅行エージェント 1 社 1 名、ランド社 1 社 1 名、ソウル事務所 1 名

イ 閑散期販売対策

(ア) 2012 夏の青森販売促進プロモーション助成事業

青森・ソウル線が週 4 便になったことを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支 援 先 ロッテ観光開発(株)、(株)モードツアー、(株)K R T
- ◆期 間 平成 24 年 6 月 1 日 (金) ~ 8 月 31 日 (金)



(イ) 青森販売促進プロモーション助成事業

韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 (株)韓進観光
- ◆期間 平成24年8月1日(水)～10月31日(水)

(ウ) 2012秋の青森販売促進プロモーション助成事業

韓国ドラマロケが実施され、青森県内の映像が露出されることを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 ロッテ観光開発(株)
- ◆期間 平成24年9月1日(土)～11月30日(金)

(エ) 2012年度11月～1月青森販売促進プロモーション助成事業

韓国ドラマロケが実施され、青森県内の映像が露出されることを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 (株)ハナツアー、(株)モードツアー
- ◆期間 平成24年11月1日(木)～平成25年1月31日(木)

(オ) 2012冬の青森販売促進プロモーション助成事業

韓国ドラマロケが実施され、青森県内の映像が露出されたことを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 (株)ロッテ観光、ホドレポーツ(株)
- ◆期間 平成24年12月1日(土)～平成25年2月28日(木)

(カ) 2012年度2月～3月青森販売促進プロモーション助成事業

韓国ドラマロケが実施され、放映後、高視聴率を記録したことを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 (株)モードツアー
- ◆期間 平成25年2月1日(金)～3月15日(金)

(キ) 2012 年度早春の青森販売促進プロモーション助成事業

韓国ドラマロケが実施され、放映後、高視聴率を記録したことを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 (株)モードツアー、(株)K R T
- ◆期間 平成 25 年 2 月 15 日 (金) ~ 3 月 15 日 (金)

(ク) 2012 年度 3 月青森販売促進プロモーション助成事業

韓国ドラマロケが実施され、放映後、高視聴率を記録したことを契機に、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支援先 (株)ロッテ観光
- ◆期間 平成 25 年 3 月 1 日 (金) ~ 3 月 15 日 (金)

ウ 教育旅行誘致対策

(ア) 韓国高等学校視察団対応

韓国修学旅行誘致実行委員会が企画した韓国高等学校の校長先生による視察にアテンド・通訳を行った。

- ◆期間 平成 24 年 8 月 1 日 (水) ~ 3 日 (金) 3 日間
- ◆場所 十和田湖遊覧船、奥入瀬溪流、道の駅おいらせ、十和田市現代美術館、ホテル青森、青森ねぶた祭鑑賞、ねぶたの里、ワ・ラッセ等
- ◆招聘者 韓国高等学校長 5 校 5 名、旅行エージェント 1 名

③ 東アジア誘客促進事業 (県委託事業)

韓国等からの誘客促進を図るため、海外航空会社や旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

【韓国対策】

ア 韓国メディア招聘による情報発信

韓国メディアを招聘し、韓国からの旅行需要回復に向けて、東日本大震災以降の本県の現状について正確な情報を発信し安全性を P R するとともに、本県観光の魅力を紹介・宣伝した。

(ア) 韓国ドラマロケ地を中心とした情報発信

- ◆期間 平成 24 年 8 月 17 日 (金) ~ 19 日 (日) 3 日間
- ◆場所 A-FACTORY、ワ・ラッセ、青森県観光物産館、ホテルアップルランド、藤田記念庭園、弘前公園、津軽藩ねぶた村、弘前市りんご公園、奥入瀬溪流ホテル、奥入瀬溪流、星野リゾート青森屋等
- ◆招聘者 韓国パワーブロガー 3 名、ソウル事務所 1 名

(イ) 韓国ドラマロケ地を中心とした情報発信

- ◆期 間 平成 24 年 9 月 14 日 (金) ~16 日 (日) 3 日間
- ◆場 所 ねぶたの里、八甲田ロープウェー、酸ヶ湯温泉、津軽伝承工芸館・こけし館、青荷温泉、白神山地、十二湖、不老ふ死温泉、ナクア白神ホテル&リゾート、立佞武多の館、斜陽館等
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2名、ソウル事務所1名

(ウ) 韓国ドラマロケ地を中心とした情報発信

- ◆期 間 平成 24 年 10 月 19 日 (金) ~21 日 (日) 3 日間
- ◆場 所 八甲田ロープウェー、酸ヶ湯温泉周辺、奥入瀬溪流ホテル、奥入瀬溪流、十和田湖、津軽藩ねぶた村、弘前公園、藤田記念庭園、青森県立美術館等
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2名、ソウル事務所1名

(エ) 韓国ドラマロケ地及び冬商品を中心とした情報発信

- ◆期 間 平成 25 年 1 月 6 日 (日) ~9 日 (水) 4 日間
- ◆場 所 弘前城、成田専蔵珈琲店、ナクア白神スキー場、斜陽館、津軽鉄道ストーブ列車、立佞武多の館、青森県立美術館、味噌カレー牛乳ラーメン、ワ・ラッセ、八甲田ロープウェー(スノーシュートレッキング)等
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー3名

(オ) メディア活用による知名度向上事業

- ◆期 間 平成 25 年 1 月 30 日 (水) ~2 月 3 日 (日) 5 日間
- ◆場 所 八甲田ロープウェー、モヤヒルズスキー場、酸ヶ湯温泉、ナクア白神スキー場、嘉瀬スキー場、斜陽館、津軽鉄道、ストーブ列車、大鱈スキー場、禅林街、旧弘前借行社、青森銀行記念館、津軽藩ねぶた村、仲町重要伝統建物保存地区、八甲田丸、青森県観光物産館等
- ◆招 聘 者 韓国ドラマ監督等7名

イ 韓国ドラマ認知度向上事業

韓国内において韓国パワーブロガーを招待し、青森県がロケ地であることをPRするとともに、ブログを通して青森の認知度を上げる事業を実施した。

(ア) 「チャカン男子」の撮影地、チャカン青森サポーターズ会

- ◆期 日 平成 24 年 11 月 13 日 (火)
- ◆場 所 ミレニウム・ソウル・ヒルトン
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー21名

(イ)「チャカン男子」HPイベント

- ◆期 間 平成24年10月～11月
- ◆内 容 (株)モードツアーのHP上でイベントを開催し、2組のブロガーを青森招待するというプレゼント経費の一部(航空券代)を支援した。
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー4名

ウ 韓国食品展示会出展等事業

韓国食品展示会への出展や韓国バイヤーの招聘により、バイヤー並びに一般消費者に対して、県産品・県産酒等のPRを行い、本県のイメージアップと誘客促進を図った。

(ア) 韓国ソウルフード出展

- ◆期 間 平成24年5月7日(月)～11日(金)5日間
- ◆場 所 ソウル市 K I N T E X 国際展示場
- ◆出 展 者 (株)ファーストインターナショナル、(株)柏崎青果、NPOプラットフォームあおもり、桃川(株)

(イ) 試食・試飲イベント

- ◆期 日 平成24年5月8日(火)
- ◆場 所 ソウル市 K I N T E X 国際展示場館内特設ブース
- ◆出 展 者 (ア)と同じ

(ウ) 試食・試飲イベント

- ◆期 間 平成24年11月4日(日)～20日(火)17日間
- ◆場 所 ソウル市 清溪川広場
- ◆来 場 者 約320万人

(エ) バイヤー招聘

- ◆期 間 平成24年11月21日(水)～23日(金)3日間
- ◆場 所 野辺地町、青森市、平内町
- ◆招 聘 者 (株)ユナイテッドヴィジョン社長、ウェスティン朝鮮ホテル購買チーム長、シェフ3名

【台湾対策】

ア 青森旅行商品(台湾)販売促進プロモーション事業(県委託事業)

東日本大震災以降落ち込んでいる台湾からの観光客数の回復を図ることを目的として、青森空港及び三沢空港を離発着するチャーター便を活用した旅行商品及びJALとJRが連携し実施するFIT向け立体型観光商品の販売促進に係る経費の一部を助成した。

(ア) チャーター一便活用型旅行商品販売支援事業

- ◆対象商品 台湾発で青森空港又は三沢空港を離発着するチャーター一便を利用し、青森県内の宿泊施設に1泊以上する青森旅行商品
- ◆支援先 五福旅行社股份有限公司、喜鴻旅行社有限公司、康福旅行社股份有限公司、大榮国際旅行社股份有限公司、東南旅行社股份有限公司、山富国際旅行社股份有限公司、大興旅行社股份有限公司、雄獅旅行社股份有限公司、詠莉旅行社股份有限公司
- ◆期間 平成25年1月1日(火)～3月31日(日)

(イ) 青森旅行商品(台湾)販売支援事業(JAL+JR版)

- ◆対象商品 JALとJRが連携し実施するFIT向け立体型観光商品で青森県内の宿泊施設に1泊以上する旅行商品
- ◆支援先 永利旅行社股份有限公司
- ◆期間 平成25年1月1日(火)～2月28日(木)

イ 観光客等お出迎え対応

青森空港へのチャーター一便等による台湾からの観光客等の来県に合わせて、県等と連携した歓迎対応を実施した。

◆期 日

- (ア) 平成24年5月2日(水) 台湾人ブロガー来県(新青森駅)
- (イ) 平成24年5月23日(水) 台湾チャーター一便
- (ウ) 平成24年6月26日(火) 台南市長ミッション団来県  
(羽田空港経由)
- (エ) 平成25年1月10日(木) 台湾チャーター一便
- (オ) 平成25年1月31日(木) 台湾チャーター一便
- (カ) 平成25年2月14日(木) 台湾チャーター一便
- (キ) 平成25年2月28日(木) 台湾チャーター一便
- (ク) 平成25年3月24日(日) 台湾チャーター一便

ウ 台湾航空会社、エージェンツ訪問

(ア) 弘前圏域観光誘致促進ミッション団参加

- ◆期 日 平成25年2月1日(金)
- ◆訪問先 五福旅遊社股份有限公司、長谷綜合旅行社有限公司、富康綜合旅行社、尚景綜合旅行社有限公司

(イ) 台湾青森プロモーション参加

- ◆期 日 平成 25 年 3 月 1 日 (金)
- ◆訪 問 先 エバー航空、中華航空、復興航空、康福旅行社股份有限公司、大興旅行社股份有限公司、五福旅遊社股份有限公司、喜鴻旅行社有限公司、東南旅行社股份有限公司

【香港対策】

観光客等お見送り対応

仙台空港及び函館空港を利用した香港 E G L ツアーズによる震災復興チャーター便に対して、青森駅においてお見送り対応を実施した。

- ◆実 施 日 平成 25 年 3 月 13 日 (水)

【中国対策】

ア 中国青年代表団と青森県観光関係者との意見交換会

外務省が実施する「アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流」の一環として来青した中国青年代表団との意見交換会を実施した。

- ◆期 日 平成 24 年 7 月 30 日 (月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆招 聘 者 アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流 (キズナ強化プロジェクト) 教育・観光分団

※「アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流 (キズナ強化プロジェクト)」

中華全国持年連合会が選抜した各界の将来を担う青年代表及び大学生を日本に招轄し、滞在期間中、日本の各分野の青年、大学生との交流、各地視察等を通して、客観的な対日理解を増進させることを目的とした外務省の事業。

イ 青森旅行商品 (大連) 販売促進プロモーション事業 (県委託事業)

東日本大震災以降落ち込んでいる中国人観光客数の回復を図ることを目的として、中国大連発の大連・青森チャーター便を利用した青森旅行商品を販売する中国国内の旅行社に対し、販売促進対策に係る経費の一部を助成した。

- ◆対象商品 大連・青森チャーター便を利用して催行される青森旅行商品で、県内の宿泊施設に 1 泊以上宿泊する旅行商品
- ◆支 援 先 大連市海外旅遊有限公司
- ◆期 間 平成 24 年 9 月 1 日 (土) ~ 9 月 30 日 (日)

ウ 観光客等お出迎え対応

青森空港へのチャーター便等による大連からの観光客等の来県に合わせて、県等と連携した歓迎対応を実施した。

◆期 日 平成 24 年 9 月 12 日（水）

【韓国・台湾・香港対策】

青函連携プロモーション事業

台湾・韓国・香港メディア招聘事業（函館市とのVJ事業）

◆期 間 平成 24 年 9 月 8 日（土）～10 日（月）

◆場 所 大間町（マグロ）、野辺地町（まかど温泉）、青森市（古川市場のつけ井、ワ・ラッセ）

◆招 聘 者 台湾：旅行雑誌「行遍天下」、  
旅行エージェント「ライオントラベル」  
韓国：旅行雑誌「旅行スケッチ」、  
旅行エージェント「Very Good Tour」  
香港：旅行雑誌「新假期」

④ 韓国・台湾誘客対策特別事業（県委託事業）

東日本大震災以降低迷する旅行需要を回復し、特に海外からの宿泊者数が多い韓国からの誘客促進を図るため、航空会社及び旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

【韓国対策】

ア 大韓航空及び旅行エージェントとの連携によるプロモーション

2012 春の青森販売促進プロモーション助成事業

長期化する円高傾向、震災による不安を払拭し、韓国人利用者数が改善されることを目的として、販売促進に係る経費の一部を支援した。

◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品  
◆支 援 先 ロッテ観光開発(株)、(株)モードツアー、(株)K R T、  
(株)ハナツアー、(株)韓進観光、大韓航空連合社  
◆期 間 平成 24 年 4 月 1 日（日）～5 月 31 日（木）

イ 旅行エージェント視察取材対応

◆期 間 平成 24 年 4 月 17 日（火）～18 日（水）2 日間  
◆場 所 鱈 come、青荷温泉、十三湖、津軽鉄道、新青森駅等  
◆招 聘 者 旅行エージェント「旅行博士」1 名

## 【台湾対策】

### ア 台湾人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

東日本大震災以降落ち込んでいる台湾からの観光客数の回復を図るため、旅行エージェント招聘事業等を実施した。

#### （ア）台湾旅行エージェント等招聘（ファムツアー）

- ◆期 間 平成 24 年 11 月 7 日（水）～11 日（日）5 日間
- ◆場 所 函館朝市、津軽伝承工芸館、青荷温泉、中野もみじ山、弘前市りんご公園、津軽藩ねぷた村、弘前城、立佞武多の館、古川市場ほか
- ◆招 聘 者 旅行エージェント 7 名、マスコミ 3 名、エバー航空 2 名

#### （イ）台湾で行われる観光博等における PR グッズの購入

I T F（第 20 回台北国際旅展）における青森県 PR 用として、ノベルティを購入した。

- ◆期 間 平成 24 年 10 月 26 日（金）～29 日（月）4 日間
- ◆場 所 台北世界貿易センター

## ⑤ 国際観光プロモーション推進事業

外国語の堪能な人材を国際観光アドバイザーとして雇用し、県内の観光事業者の受入意識の向上に向けたセミナー開催のほか、観光施設や宿泊施設等の外国語表記の助言等による外国人観光客の受入体制の整備を図るとともに、県等が行う国際観光プロモーション事業における通訳・翻訳等を行った。

- ◆期 間 平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
- ◆人 員 3 名
- ◆対応言語 英語、韓国語、中国語

### ア 第 1 回外国人観光客受け入れのためのおもてなしセミナー

- ◆期 日 平成 24 年 7 月
- ◆場 所 県内 6 会場

### イ 第 2 回外国人観光客受け入れのためのおもてなしセミナー

- ◆期 日 平成 24 年 9 月
- ◆場 所 県内 6 会場

### ウ 第 3 回外国人観光客受け入れのためのおもてなしセミナー

- ◆期 日 平成 24 年 11 月～12 月
- ◆場 所 県内 6 会場



エ 「おもてなし外国語会話集」作成

◆期 日 平成 25 年 3 月

⑥ 東アジア情報発信強化事業

外国語の堪能な人材を国際観光アドバイザーとして雇用し、SNSなどインターネットを活用した観光情報発信、青森県内の市町村・観光関係団体等による情報発信及び受入体制整備への支援等を行うことにより、本県への外国人誘客促進を図った。

◆期 間 平成 25 年 2 月 1 日（金）～3 月 31 日（日）

◆人 員 3 名

◆対応言語 英語、韓国語、中国語

⑦ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業（県委託事業）

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

◆設置場所

大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館 7 階

◆運営主体

北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会

◆構 成 員

北海道、青森県、岩手県、秋田県、（社）北海道貿易物産振興会、  
（公社）青森県観光連盟、（公財）岩手県観光協会、（社）秋田県観光連盟

イ 主な事業内容

（ア）北東北三県・北海道韓国旅行エージェント商談会

第 1 回

◆期 日 平成 24 年 10 月 10 日（水）

◆場 所 ソウル市 「ザ・プラザ」

◆参 加 者 日本側：4 道県 41 名（青森県 5 団体 6 名）  
韓国側：旅行エージェント・ランド社 119 名  
メディア 6 名  
大韓航空 6 名

第 2 回

◆期 日 平成 25 年 2 月 19 日（火）

◆場 所 ソウル市 「ウエスティン朝鮮ホテル」

◆参 加 者 日本側：4 道県 55 名（青森県 15 団体 18 名）  
韓国側：旅行エージェント・ランド社 104 名  
メディア 7 名  
大韓航空 5 名  
その他 2 名

(イ) KE top 100 ファムツアー

秋田県・岩手県と連携し、大韓航空商品を扱っている旅行エージェントの売上げトップ100を招待してのツアーを開催し、青森の魅力をPRした。

- ◆期間 平成24年9月3日(月)～4日(火) 2日間
- ◆場所 弘前公園、津軽藩ねふた村、奥入瀬溪流、十和田湖遊覧船、星野リゾート青森屋、青森県立美術館等
- ◆招聘者 旅行エージェント81社81名

⑧ 各種イベント出展等

- ◆ハナツアー博覧会  
平成24年5月16日(水)～20日(日)5日間
- ◆韓国知事トップセールス  
平成24年5月30日(水)～6月1日(金)3日間
- ◆釜山国際観光展B I T F  
平成24年9月5日(水)～9日(日)5日間
- ◆ソウルランタン祭り  
平成24年11月4日(日)～14日(水)11日間
- ◆五所川原市観光プロモーション  
平成24年11月5日(月)
- ◆トラベルマート2012  
平成24年11月19日(月)～21日(水)3日間
- ◆済州における「青森PR展」及び佐々木副知事ミッション  
平成24年12月16日(日)～20日(木)5日間

(5) 観光キャンペーン推進事業

JR東日本や(社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、青森デスティネーションキャンペーンのキャッチフレーズ「行くたび、あたらしい。青森」とマスコットキャラクターの「いくべえ」を引き続き本県観光PRのキャッチフレーズ及びキャラクターとして活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成や首都圏等での観光説明会の開催などを通じて、本県の観光資源の魅力を全国に発信し、本県への一層の誘客促進を図った。

① あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

県内外の各種観光キャンペーンイベント等において本県観光のPRを行う「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命した。

◆人数 5名

◆任期 平成24年4月1日～平成25年3月31日

② 観光ガイドブック等の制作、配布

ア あおもり紀行ガイドブックの制作

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、旬な情報やイベント、観光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおもり紀行ガイドブック」を制作、配布した。

◆制作数：夏・秋号 15万部

冬・春号 50万部（東北新幹線青森県開業10周年

誘客推進事業分の35万部を含む）

◆発行時期：夏・秋号 平成24年5月

冬・春号 平成24年10月

イ キャンペーン用ビニール袋の制作

各種キャンペーンイベントでパンフレット等を配付するためのキャンペーン用ビニール袋を制作した。

◆制作数： 10,000枚程度

③ 東北新幹線青森県開業10周年誘客推進事業

JR東日本及び青森県等と連携し、東北新幹線八戸開業10周年を記念した各種事業を実施することにより、本県への一層の誘客促進を図った。

ア 「行きたび、あたらしい。青森 観光PRキャンペーン in 仙台」の開催

◆期間 平成24年11月16日（金）～18日（日） 3日間

◆場所 JR仙台駅2階コンコース内イベントスペース

◆内容

- ・オープニングセレモニー開催
- ・各種コーナーの設置（八戸開業10周年PRコーナー観光PRコーナー、青森の湯体験コーナー、特産品販売コーナーなど）
- ・観光PRステージ（津軽三味線、八戸えんぶり披露県内のミス等による観光PRなど）

イ 東北新幹線八戸開業 10 周年記念イベントへの参画

- ◆期 間 平成 24 年 12 月 1 日（土）～2 日（日）2 日間
- ◆場 所 JR 八戸駅
- ◆内 容
  - ・東北新幹線団体臨時列車出発式の開催
  - ・八戸開業 10 周年記念ステージイベントの開催
  - ・おもてなし隊の実施
  - ・物産販売・観光 PR コーナーの設置ほか

ウ 「行くたび、あたらしい。青森 観光 PR キャンペーン in 大宮」の開催

- ◆期 間 平成 24 年 12 月 14 日（金）～16 日（日） 3 日間
- ◆場 所 JR 大宮駅 西口改札外イベントスペース
- ◆内 容
  - ・オープニングセレモニー開催
  - ・各種コーナーの設置（八戸開業 10 周年 PR コーナー、観光 PR コーナー、青森の湯体験コーナー、特産品販売コーナーなど）
  - ・観光 PR ステージ（津軽三味線・八戸えんぶり披露 県内のミス等による観光 PR など）

エ 「おんでやあんせ八戸 観光復興キャンペーン in 上野駅」への参画

- ◆期 間 平成 25 年 2 月 9 日（土）～10 日（日） 2 日間
- ◆場 所 JR 上野駅 ガレリア、グランドコンコース
- ◆内 容
  - ・北三陸物産販売
  - ・観光 PR ステージ（八戸えんぶり・三味線・民謡・手踊り披露、クイズ大会など）

オ 首都圏ホテル等における県産食材フェアでの観光 PR

首都圏のホテルにおいて開催された「産地と技の饗宴 青森フェア」において、食と観光の一体的な PR を実施することにより、本県への誘客促進を図った。

- ◆期 間 平成 25 年 1 月 15 日（火）～3 月 14 日（木）
- ◆場 所 ホテルメトロポリタン（池袋）
- ◆内 容
  - ・本県観光パンフレットの配付
  - ・いくべえ派遣による観光 PR 実施（1 月 17 日）など

カ 記念ポスターの制作

東北新幹線八戸開業 10 周年記念ポスターを制作し、県内の観光施設等に掲出した。

- ◆制作枚数 B2 判、9,000 枚
- ◆掲出時期 平成 24 年 11 月から

④ F D A 就航 1 周年記念イベント実施事業（県委託事業）

中京圏において、F D A（フジドリームエアラインズ）名古屋・小牧ー青森便就航 1 周年の記念イベントを行い、観光 P R 等により本県への誘客促進を図った。

- ◆期 間 平成 24 年 6 月 30 日（土）～7 月 1 日（日）2 日間
- ◆場 所 名古屋市イオンナゴヤドーム前店
- ◆内 容 観光 P R イベントの開催
  - ・津軽三味線、民謡、手踊り披露
  - ・青森ねぶた囃子実演
  - ・ミスねぶた、あおもり紀行キャンペーンスタッフによる観光 P R、観光クイズ

⑤ 旅行エージェントセールス強化事業（県委託事業）

旅行エージェントの商品造成や販売の時期を捉え、本県の観光や食などの魅力を提案・P R するためのエージェントセールスを実施するとともに、旅行商品の販売促進を図るため、旅行エージェント店舗等におけるキャラバンの実施や観光ポスターを制作した。

ア 旅行エージェントセールスの実施

- ◆実施時期 6 月、11 月及び 2 月
- ◆訪 問 先 首都圏、名古屋市、大阪市、福岡市
- ◆実施内容 旅行エージェントへの集中訪問による商品造成の促進

イ 販売店舗キャラバンの実施

- ◆実施内容 首都圏旅行エージェント販売店舗等において、観光パンフレット配布、津軽三味線演奏、ミスやマスコットキャラクターによる観光 P R などのキャラバンを実施した。
- ◆訪問店舗数 31 か所

ウ 観光ポスターの制作

- ◆制作内容 県内4エリアの四季をテーマに4種類のポスターを制作し、首都圏主要駅を中心に県外約900箇所に掲出した。  
中野もみじ山（秋）青森ベイエリア（冬）  
下北の食（冬）、奥入瀬溪流（早春）
- ◆制作枚数 各1,000枚

⑥ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」及び津軽線・大湊線等で運行されている「リゾートあすなろ」の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレット作成や車内イベント等を実施した。

⑦ 航空路線活用対策

青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、九州地方や中国地方等からチャーター便を利用して来県する観光客に対して青森空港で歓迎イベント等を実施した。

◆実施内容

- ・平成24年5月4日（金） 沖縄JTAチャーターお出迎え
- ・平成24年10月20日（日） 九州JALチャーターお出迎え
- ・平成24年10月24日（水） 九州JALチャーターお見送り
- ・平成25年1月12日（土） 沖縄JTAチャーターお出迎え
- ・平成25年3月9日（土） FDAひよいとツアーお出迎え
- ・平成25年3月16日（土） FDAひよいとツアーお出迎え

⑧ 観光イベント等への参画

東日本旅客鉄道(株)や(社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開した。

ア 2012夏の海と山観光展

- ◆期 間 平成24年7月1日（日）～2日（月）2日間
- ◆場 所 JR大宮駅
- ◆主 催 (社)日本観光振興協会関東支部

イ ハイウェイフェスタとうほく2012

- ◆期 間 平成24年9月16日（日）～17日（月）2日間
- ◆場 所 仙台市勾当台公園市民広場
- ◆主 催 東日本高速道路(株)東北支社

ウ 2013 冬の旅・早春の旅観光展

- ◆期 間 平成 24 年 11 月 4 日（日）～5 日（月）2 日間
- ◆場 所 JR 横浜駅
- ◆主 催 (社)日本観光振興協会関東支部

エ ふるさと祭り東京 2013

- ◆期 間 平成 25 年 1 月 12 日（土）～20 日（日）9 日間
- ◆場 所 東京ドーム
- ◆主 催 ふるさと祭り実行委員会

オ その他

県内外で開催される各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおもり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行った。

⑨ 旅行商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機関と連携を図り、旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供し、旅行商品の造成を強力に促進した。

⑩ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し積極的に協力した。

(6) 受入体制整備事業

① 観光案内所運営事業

青森県東京観光案内所及び青森空港観光案内所を運営し、国内外から訪れる観光客等に対する観光情報の提供及び観光案内を行った。

また、県内観光案内所の連携による観光情報の提供及び観光案内体制の充実強化を図った。

- ◆青森県東京観光案内所における観光案内（県委託事業）  
所在地 東京都千代田区富士見 2-3-11 青森県会館 1 階
- ◆青森空港観光案内所における観光案内  
所在地 青森市大谷字小谷 1-5 青森空港ビル 1 階

② 青森県内観光案内所連絡会議の開催

県内の各観光案内所（40か所）の円滑な業務運営と広域観光案内に対応するため、連絡会議を開催した。

- ◆期 日 平成24年4月26日(木)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 ・青森県観光情報サイト「アプティネット」の活用について  
・外国人受入接遇の外国語表記マニュアルについて
- ◆参加者 県内観光案内所及び運営団体職員 16名

③ 「もてなしの心」運動推進事業

ア クリーン大作戦事業

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切にし、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を開催した。

- ◆期 日 平成24年4月14日(土)
- ◆場 所 県内各地
- ◆参加人数 約10万人

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催事業

観光ボランティアガイド県大会を開催し、先進事例の研修や活動事例発表などを通じ、団体相互の情報交流、スキルアップを図った。

- ◆期 日 平成24年11月10日(土)
- ◆場 所 西目屋村 中央公民館
- ◆参加団体 20団体
- ◆参加人数 140名

ウ ほほえみプロデュース講習会開催事業

観光客を温かくもてなすための気運醸成を図るため、青い森のほほえみプロデュース推進協会が行う「ほほえみプロデュース講習会」を連盟会員の観光事業従業者等を対象に開催した。

- ◆期 間 平成24年10月～平成25年3月
- ◆場 所 県内11か所
- ◆開催回数 15回
- ◆参加人数 471名

(7) その他観光振興事業

① 観光リーダー実践研修事業

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりやおもてなしの取り組みなど、本県の観光振興の中核となる地域の人材の育成と活用を図るための研修事業を実施した。



- 第1回研修 講師：磯貝政弘氏／(株)JTB総合研究所主席研究員  
テーマ：「着地型観光におけるリーダー」
- ◆期 日 平成24年9月26日（水）  
◆場 所 青森県観光物産館  
◆参加人数 53名
- 第2回研修 講師：加藤誠氏／(株)ジェイティービー旅行事業  
本部観光戦略部長  
テーマ：「他都道府県の着地型観光の成功事例から探る、  
地域観光作りのヒント」
- ◆期 日 平成24年11月27日（火）  
◆場 所 青森県観光物産館  
◆参加人数 65名
- 第3回研修 講師：油川晋司氏／東日本旅客鉄道(株)東京支社  
びゅう事業部課長  
テーマ：「地域間交流やネットワークの大切さ、観光地域  
づくりのリーダーとしての役割」
- ◆期 日 平成25年2月27日（水）  
◆場 所 青森県観光物産館  
◆参加人数 54名

- ② 観光地域づくり人材育成研修事業（主催：(社)日本観光振興協会）  
（社）日本観光振興協会と共同で、県内の観光サービス業務に従事して  
いる方々を対象として「おもてなし研修」を開催した。
- ◆期 日 平成25年2月14日（木）  
◆場 所 ラ・プラス青い森  
◆講 師 Jプレゼンスアカデミー 西牧操代氏  
◆参 加 者 県内観光団体・観光施設従業員等 65名

- ③ 観光功労者表彰  
観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を  
図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰した。

【個人】

- ・石岡倉松氏（社）三沢市観光協会顧問
- ・及川次夫氏（六ヶ所村観光協会会長）
- ・瀬川征吉氏（市民ガイド八戸協会代表）

【団体】

- ・こみせ観光ボランティアガイドの会（会長 小野せつ子）
- ・十和田湖・奥入瀬観光ボランティアの会（代表 小笠原哲夫）

④ 観光振興事業（県補助事業）

ア 観光情報等提供事業

本県への旅行の動機付け及び誘客促進のため、旅行情報誌等を活用し、本県の魅力ある観光資源の情報提供を行った。

イ (社)日本観光振興協会中央事業への拠出

(社)日本観光振興協会が実施する全国的または重点的な事業に対し拠出した。

⑤ 各種観光関連団体実施事業への参画

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会タイアップ、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備・誘客促進並びにPRに努めた。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構とタイアップし、広域観光の推進を図った。

## 2 青森県観光物産館管理運営事業

観光物産の情報発信拠点である青森県観光物産館の機能強化と魅力向上を図り、展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、青森県地場セレクトなどの物産販売店、会議室等の管理・運営、市町村と連携したイベント等の開催を通じ、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

(1) 観光資源紹介事業

青森市内唯一の展望施設である地上 51 メートルの展望台、360 度の全周映像で県内 40 市町村の四季の自然や祭り、郷土芸能等の観光資源を紹介するパノラマ映画をはじめ各種展示コーナーの管理・運営等を行った。

(2) イベント開催・貸会議室事業

主催イベントの充実を図るとともに、市町村・団体等との連携イベントを強化するほか、地域おこしイベント等へ会場を提供し、本県の観光・物産・郷土芸能の情報発信を強化し、地域振興を図った。

また、館内の会議室(11室)を、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などの振興や地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興を図った。

### 【主なイベント等】

- ① 東北新幹線八戸開業 10 周年記念事業 [平成 24 年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業]

東北新幹線八戸開業 10 周年事業として、県内 40 市町村の魅力溢れる地場産品等を一堂に集めた「あおり満喫フェア」を開催し、県内全域における観光資源のさらなる魅力向上と交流人口の促進を図った。

- ② 光のファンタジー事業

青森県観光物産館への誘客とベイエリアの魅力向上のためイルミネーションイベントを開催するとともに、市町村等と連携し、県内で行われているイベントにおいて機材を利活用し、魅力あるイベントの実施による滞在型観光及び冬季観光の振興を推進し、本県への一層の誘客促進を図った。

#### ア 東北新幹線開業 30 周年記念イルミネーションイベント

「美四季（うつくしき）青い森」

- ◆開催期間 平成 24 年 6 月 23 日（土）～8 月 26 日（日）65 日間
- ◆開催場所 青森県観光物産館 2 階市町村ホールイベント
- ◆開催内容 LED 電球約 7 万 5 千球を使い本県の四季を表現したイルミネーションイベントを実施した。
- ◆来場者数 122,879 人

#### イ 東北新幹線八戸開業 10 周年記念イルミネーションイベント

「光の散歩道」

- ◆開催期間 平成 25 年 1 月 1 日（火）～27 日（日）27 日間
- ◆開催場所 青森県観光物産館西側駐車場
- ◆開催内容 LED 電球約 23 万球によるイルミネーションとライトショーを行うとともに、館内には黒石市のこけし灯ろうを設置し人気投票を実施した。また、青森ベイエリアと連携し、ポスターやチラシ制作等の広報活動を行った。
- ◆来場者数 22,940 人

#### ウ サクラサク春の花イルミネーション

- ◆開催期間 平成 25 年 3 月 9 日（土）～31 日（日）23 日間
- ◆開催場所 青森県観光物産館 1 階エントランスホール
- ◆開催内容 LED 電球約 7 万 4 千球を使い「希望の光」をテーマに、桜の木のシンボルツリーを設置し、青森県の春の花を表現したイルミネーションイベントを実施した。

### 【主な機器活用実績】

#### ア 十和田湖湖水まつり

- ◆期 間 平成 24 年 7 月 14 日（土）～16 日（月・祝）3 日間
- ◆場 所 十和田市／十和田湖畔休屋

イ 水源地公園ライトアップ

- ◆期 間 平成 24 年 7 月 14 日（土）～24 日（水）11 日間
- ◆場 所 むつ市／水源地公園

ウ 夏もみじライトアップ「光のファンタジー」

- ◆期 間 平成 24 年 8 月 1 日（水）～12 日（日）12 日間
- ◆場 所 黒石市／中野もみじ山

エ 七戸ナニャドヤラ盆踊り花火大会

- ◆期 間 平成 24 年 8 月 16 日（木）
- ◆場 所 七戸町／七戸町中央公園

オ 秋の紅葉ライトアップ「光のファンタジー」

- ◆期 間 平成 24 年 10 月 13 日（土）～11 月 12 日（日）30 日間
- ◆場 所 黒石市／中野もみじ山

カ 十和田湖冬物語 2013

- ◆時 期 平成 25 年 2 月 1 日（金）～24 日（日）24 日間
- ◆場 所 十和田市／十和田湖畔休屋

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内全域の地場産品の掘り起こしを進め、既存の流通ルートにのりにくい商品や、こだわり・ストーリー性のある地場産品を紹介・販売する「青森県地場セレクト」の運営を行い、店舗での消費者の反応や改良点などを生産者にフィードバックし、商品改良・販路拡大に活用し、地域や産業の振興を図った。

(4) テナント事業

青森県の主要な産業の一つであるエネルギー施策PRの展示・体験施設と雇用促進関連事業であるハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その活動及びサービスの場を提供することにより、本県の産業の振興を図った。

(5) PRホール運営事業

青森県観光物産館1・2階において、市町村の観光、物産、郷土芸能、民芸品を紹介・宣伝するとともに、本県を代表する郷土芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館、近代文学館等との連携展を開催した。

(6) 青森県観光物産館の機能強化及び魅力向上事業

① 館内照明のLED化

活性化積立引当預金を活用し、昨年度に引き続き、3か年計画で進めている館内照明のLED化を進め、節電と経費節約、観光物産拠点施設としての機能強化を図った。

◆実施期間 平成24年4月～5月

◆実施内容 館内の非常階段及び1階吹き抜け

② 消防設備の点検

活性化積立引当預金を活用し、消防法改正に伴う既存消防設備点検を実施し、観光物産拠点施設としての機能強化を図った。

◆実施期間 平成24年12月～平成25年2月

◆実施内容 ハロン消火設備圧力容器耐圧試験

〔収益事業〕

1 イベントスペース・貸会議室事業

青森県観光物産館のイベントスペース及び会議室（11室）を各種会議や催事会場として貸出しした。

2 テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）をテナントとして入居させ、青森県の物産と食の魅力を提供した。

3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館来館者等の利便性向上を図るため、一般及びバス駐車場を管理・運営した。